

新刊 児童書、歴史・戦争

窓の向こう

ドクトル・コルチャックの生涯

アンナ・チェルヴィンスカ-リデル [著]

田村和子 [訳]

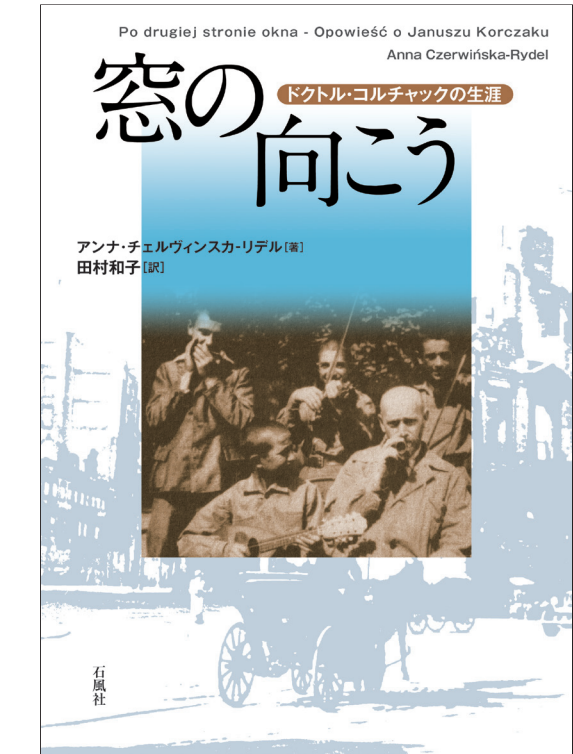
2021年5月10日刊 発行所 石風社
定価：本体1500円＋税 A5判上製211頁
ISBN978-4-88344-301-7 C8098

子どもたちのために孤児院を運営し、 ともにガス室へと向かった医師の生涯

子どもは未来ではなく、ありのままの今を生きる人間であり、大人から対等の人間として敬意を持って接してもらう権利を持っている。これはポーランドの小児科医コルチャックの養育理念です。この理念は、第44回国連総会において採択され、「子どもの権利条約」に反映されました。子どもと魚には物事を決める権利はない、という、ポーランドの厳格なユダヤ人家庭に育ったコルチャック少年は、なぜ子どもたちのために生涯を尽くし、子どもたちと共にガス室に向かったのでしょうか？

アンナ・チェルヴィンスカ-リデル (Anna Czerwińska-Rydel)

ポーランド北部のバルト海に面した港町グダンスクに生まれる。音楽、歴史、社会をテーマにした子ども・若者向けの本を執筆し、シリーズで偉人伝を書いている。グダンスク出身の優れた男性3人、女性3人について書いた『グダンスク三部作』I および II の作者。音楽家、教育者としても活躍。ポーランド作家協会およびIBBYポーランド支部の会員。作品は多くの賞を受け、中でも『Wszystko gra (すべてが音を奏でている)』はポーラニア国際絵本原画展ノンフィクション部門で「ラガッツィ賞」を受賞 (2012年)、ドイツヤングアダルト文学賞にノミネートされ (2014年)、児童書ミュージアムの宝物リストおよびIBBY オナーリストに記載された。グダンスク在住。



装幀：毛利一枝

田村和子 (たむら・かずこ)

札幌市生まれ。1979年より一年間、夫と子どもとともにポーランドのクラクフ市で生活。帰国後、東京でポーランド語を学ぶ。その後、東京外国語大学とクラクフ教育大学の研究生としてポーランドの児童文学を研究。現在、主に若者向けの小説を翻訳している。主な訳書に『金曜日うまれの子』(岩波書店)、『ノエルカ』、『竜の年』(以上、未知谷)、『強制収容所のバイオリニスト』(新日本出版社)、『ブルムカの日記』(石風社)、主な著書に『クラクフのユダヤ人』(草の根出版会)、『ワルシャワの日本人形』(岩波ジュニア新書)、『ポーランド・ボズナンの少女たち』(未知谷)がある。岩手県金ケ崎町在住。

* * *

| | | | | |
|-----------------|---|---------|---|--|
| ご注文書 【貴店番線印】 | 注文 | 日付 | ご担当 | ISBN978-4-88344-301-7 C8098 |
| | 冊 | / | 様 | 窓の向こう ドクトル・コルチャックの生涯 アンナ・チェルヴィンスカ-リデル [著] 田村和子 [訳] 定価：本体1500円＋税 |
| | 好評既刊 | ブルムカの日記 | コルチャック先生と 12人の子どもたち A4判変形上製 65頁 定価2500円＋税 | イヴォナ・フミエレフスカ [作] 田村和子・松方路子 [訳] 978-4-88344-219-5 C8798 (冊) |
| 取扱 | 地方小出版流通センター (日販/トーハン)、 欽谷書店、 きんぶん図書 | 石風社 | 福岡市中央区渡辺通2-3-24ダイレイ第5ビル5階 092 (714) 4838 | |

【ご注文は石風社 FAX:092 (725) 3440まで】